

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公開番号】特開 2001-58945 (P2001-58945A)

【公開日】平成 13 年 3 月 6 日 (2001.3.6)

【出願番号】特願 2000-204686 (P2000-204686)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 9/50
 A 2 3 K 1/16
 A 2 3 L 1/30
 A 2 3 L 1/302
 A 2 3 L 1/303
 A 6 1 K 9/107
 A 6 1 K 47/04
 A 6 1 K 47/10
 A 6 1 K 47/22
 A 6 1 K 47/24
 A 6 1 K 47/26
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 K 47/36

【F I】

A 6 1 K 9/50
 A 2 3 K 1/16 3 0 3 D
 A 2 3 L 1/30 Z
 A 2 3 L 1/302
 A 2 3 L 1/303
 A 6 1 K 9/107
 A 6 1 K 47/04
 A 6 1 K 47/10
 A 6 1 K 47/22
 A 6 1 K 47/24
 A 6 1 K 47/26
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 K 47/36

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組成物の全重量を基準とした重量パーセントで、場合により高分子量炭水化物と組み合わせた、マルトース若しくはマルトースシロップ、又は、低分子量炭水化物の混合物からなる、炭水化物マトリックス中のカプセルに入れられた、脂溶性物質約 1 重量%～約 40 重量%；乳化剤約 0.1 重量%～約 30 重量%；及び、場合により、抗酸化剤約 0.1 重量%～約 15 重量%、を含む組成物。

【請求項 2】

炭水化物マトリックスが、高分子量炭水化物と組み合わせた、低分子量炭水化物の混合物からなる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

低分子量炭水化物が、フルクトース、グルコース、グルコースシロップ、スクロース、ラクトース、D - グルコース、マルトース、高マルトース固形物(シロップ)、キシロース、アラビノース、リボース、及び糖アルコール類からなるグループから選択される、請求項 1 又は 2 記載の組成物。

【請求項 4】

低分子量炭水化物が、フルクトース、グルコース、グルコースシロップ、マルトース、及びスクロースからなるグループから選択される、請求項 1 又は 2 記載の組成物。

【請求項 5】

炭水化物マトリックスが、高分子量炭水化物と組み合わせた、マルトース、又は、50 重量%以上のマルトースを含む高マルトース固形物(シロップ)からなる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

高分子量炭水化物が、マルトデキストリンである、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 7】

脂溶性物質が、ビタミン A、E、D、及び K からなるグループから選択される脂溶性ビタミン若しくはそれらの誘導体、カロチノイド、多不飽和脂肪酸、又はそれらの混合物である、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 8】

ビタミン A 誘導体が、酢酸ビタミン A、又は、パルミチン酸ビタミン A である、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】

カロチノイドが、 β -カロチン、アスタキサンチン、アポカロテナール、カンタキサンチン、アポエステル、シトラナキサンチン、及びゼアキサンチンからなるグループから選択される、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 10】

多不飽和脂肪酸が、アラキドン酸(AA)、ドコサヘキサエン酸(DHA)、及びエイコサペンタエン酸(EPA)からなるグループから選択される、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 11】

低分子量炭水化物約 30 重量% ~ 約 95 重量%、好ましくは、約 50 重量% ~ 約 85 重量%、さらに好ましくは、約 70 重量%を含む、請求項 1 から 10 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 12】

高分子量炭水化物 0 重量% ~ 約 50 重量%、好ましくは、約 10 重量% ~ 約 40 重量%、さらに好ましくは、約 30 重量%を含む、請求項 1 から 11 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 13】

乳化剤が、ポリオキシエチレン - ソルビタン - 脂肪酸エステル、化学的に修飾されたデンプン、又はパルミチン酸アスコルビルである、請求項 1 から 12 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 14】

抗酸化剤が、アスコルビン酸ナトリウム、パルミチン酸アスコルビル、d1 - α -トコフェロール、混合トコフェロール、レシチン、及びそれらの混合物からなるグループから選択される、請求項 1 から 13 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 15】

請求項 1 から 14 のいずれか 1 項記載の組成物、及び糖を含む、食物の栄養価を高めるた

めの予めの混合物。

【請求項 16】

請求項 1 から 14 のいずれか 1 項記載の組成物の調製方法であって、脂溶性物質約 1 重量 % ~ 約 40 重量 % ; 場合により高分子量炭水化物 0 重量 % ~ 約 50 重量 % と組み合わせた、マルトース、又は、低分子量炭水化物の混合物、約 30 重量 % ~ 約 85 重量 % ; 乳化剤約 0.1 重量 % ~ 約 30 重量 % ; 及び、場合により、抗酸化剤約 0.1 重量 % ~ 約 15 重量 % ; を含む水中油滴型エマルジョンを調製すること ; 及び、所望ならば、このエマルジョンをドライパウダーに変換すること、を含むことを特徴とする方法。

【請求項 17】

マルチビタミン錠、硬ゼラチンカプセル、又はドライフード若しくは飼料組成物のための、請求項 1 から 14 のいずれか 1 項記載の組成物の使用。

【請求項 18】

予めの混合物を調製する方法であって、ドライパウダーの形態で、糖及び請求項 1 から 12 までのいずれか 1 項記載の組成物を、約 14 / 1 ~ 約 4 / 1 の比率で混合すること、を特徴とする方法。

【請求項 19】

ドライパウダーに加えられる前に、少量の飽和スクロース溶液又は少量の水を加えることにより、その糖が湿っている、請求項 18 記載の方法。

【請求項 20】

抗ケーキング剤が、好ましくは、約 0.2 重量 % ~ 約 2 重量 % の量で加えられる、請求項 18 又は 19 記載の方法。

【請求項 21】

抗ケーキング剤が、ケイ酸又はケイ酸塩である、請求項 20 記載の方法。